

SHIMANE

S

physical

P

アイが溢れる

理 学療法士

情 勢 助 連 出 話 向 他

iri

ースピリットー

T
therapist

Vol.01 2020.01

contents

新入会員紹介

新理事紹介

スペシャル会員

気になる会員

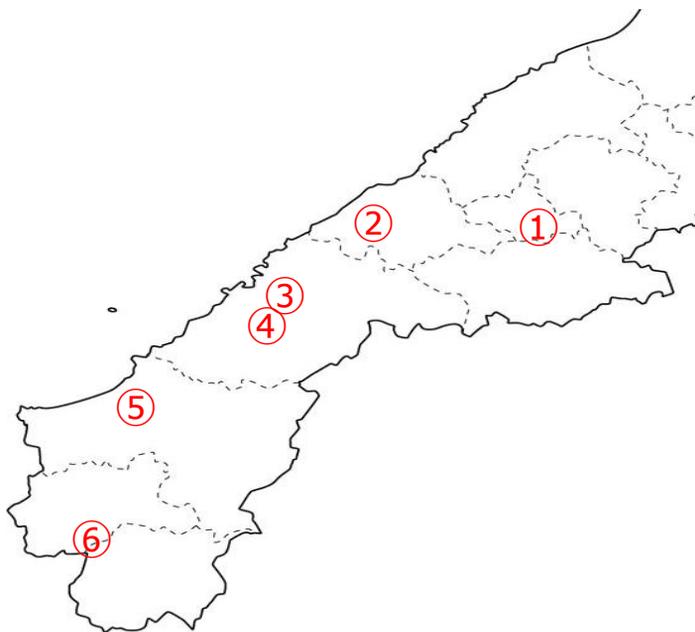
新入会員紹介

2019年の理学療法試験の受験人数は12,605名で10,809名が合格しました。
合格率は85.8%です。

このうち島根県理学療法士会に入会した施設会員51名を紹介します。

西部ブロック

大田市・江津市・浜田市・益田市・邑智郡・鹿足郡



①【加藤病院】よしむらたかふみ吉村孝文

②【西部島根医療福祉センター】もりした森下さくら

③【浜田医療センター】もりわけ み う よしむらふうか もりもと あ ゆみ ふるたひかる うえだゆう た いとうゆう た森分美羽 吉村風花 森本愛弓 古田光 上田裕太 伊藤裕太

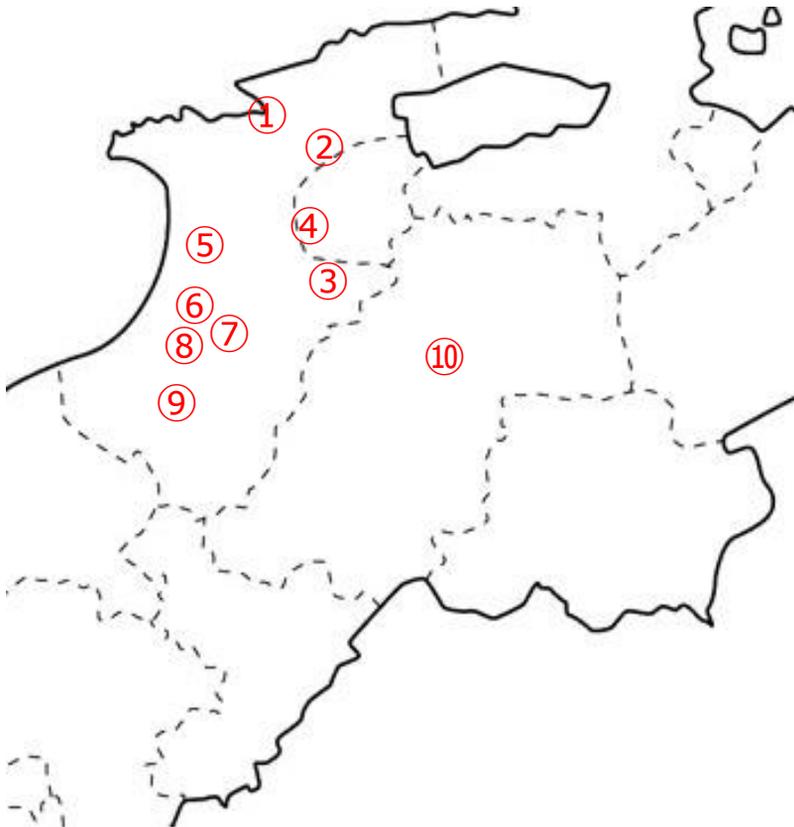
④【美川デイサービスセンター】まつもとこうじ松本晃二

⑤【ラポール宝生苑】ながたやすなり長田泰成

⑥【津和野共存病院】おちあいけん と はたしゅう落合健斗 秦秀

中部ブロック

出雲市・雲南市・飯石郡・仁多郡



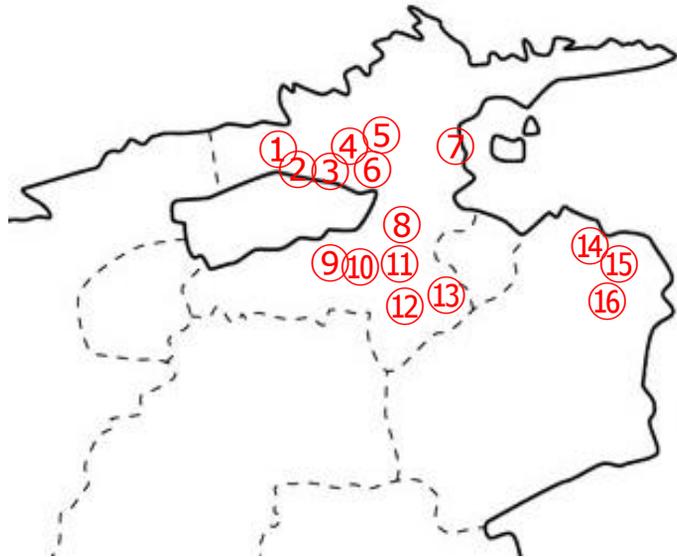
- ①【介護老人保健施設 まんだ】と やたいすけ 鳥谷泰佑
- ②【吉直整形外科クリニック】おかたつ や 岡辰弥 かわかみゆう か 川上祐花
- ③【出雲徳洲会病院】ひらおこう き 平尾浩己
- ④【高鳥クリニック】やまわきたい ち 山脇太一
- ⑤【デイサービス MILK 富】なかむら み き 中村美紀
- ⑥【島根県立中央病院】ないとうみず き 内藤瑞希
- ⑦【林整形外科医院】かわかみなな せ 川上七世
- ⑧【えだクリニック】かとうじゅんいち 加藤淳一
- ⑨【出雲市民リハビリテーション病院】たかつかだい 高塚大
- ⑩【ケアセンターきすき】なかしまだい き 仲島大揮



東部ブロック



隠岐郡・安来市・松江市



- ①【鹿島病院】 まつもとこうたろう 松本宏太郎 よしむらゆうと 吉村祐人
- ②【医療法人社団水澄み会】 ほりえひであき 堀江秀明
- ③【松江赤十字病院】 つほいかずと 坪井一斗
- ④【放課後デイサービス あおぞら児童クラブえすぱす】 わだかずき 和田一樹
- ⑤【介護老人保健施設 悠々園】 むらかみしゅん 村上駿
- ⑥【山口整形外科病院】 きづきかい 杵築海 たなべゆうか 田邊優香
- ⑦【ライフケア 回春苑】 よねざわもえ 米澤萌 みしまいくみ 三島育美
- ⑧【松江生協病院】 ふじいたかひろ 藤井隆弘
- ⑨【玉造病院】 てくち か ほ 出口果歩 ひろのゆうか 廣野佑佳 やまぞえひろたか 山添浩孝
- ⑩【松江市立病院】 かわしまひろゆき 川島展之
- ⑪【松江医療センター】 いしだひろき 石田広輝
- ⑫【あおぞら八重垣】 すやまこうへい 須山公平
- ⑬【はまもと整形外科クリニック】 わたなべりょうた 渡邊瞭太 なかむらだいち 中村大地 てらもこうすけ 寺本光佑
- ⑭【白根病院】 にしむらかいと 西村海人
- ⑮【安来第一病院】 あおとがずまさ 青戸一将 たていしまさひろ 立石将大 しょうじまこ 庄司眞子 こだまたつや 児玉竜哉 ひらのこうこ 平野皓子 あだちとおい 足立冬威
- ⑯【安来市立病院】 ごちょうのりあき 五丁慎章

2019 - 2020年度

新理事紹介

島根県理学療法士会初の理事選挙を経て、新体制となりました。
どうぞよろしくお願いいたします。



会長
太田 真英
(おた まさひで)



副会長 学術局長
小川 昌
(おがわ あつし)



副会長 社会局長
坪内 史子
(つぼうち ふみこ)



事務局長
吉岡 健太郎
(よしおか けんたろう)



学術局 江草 典政
(えぐさ のりまさ)



社会局 嘉田 将典
(かだ まさのり)



学術局 森脇 拓郎
(もりわき たくろう)



事務局 廣瀬 強志
(ひろせ つよし)



社会局 板倉 聡宏
(いたくら あきひろ)



事務局 大森 貴志
(おおもり たかし)



事務局 石田 修平
(いしだ しゅうへい)



社会局 山本 圭彦
(やまもと たかひこ)



事務局 平井 誠
(ひらい まこと)



学術局 松本 拓也
(まつもと たくや)



事務局 安平 光一郎
(やすひら こういちろう)

スペシヤル会員紹介

太田 真英 会長



島根県理学療法士会には臨床・研究の他に、協会活動・教育活動・地域活動などにも精力的に尽力されている会員が数多く在籍しています。そのような特別な会員をスペシャル会員として紹介します。第1回は島根県理学療法士会 会長の太田真英先生です。

氏名：おおた まさひで 太田 真英

所属：社会医療法人昌林会 安来第一病院 理学療法科

取得資格・役員など：

上田法認定セラピスト

回復期セラピストマネージャー（回復期リハビリテーション病棟協会）

介護支援専門員

島根県リハビリテーション専門職協議会 会長

2019グランドデザイン検討委員（日本理学療法士協会）

Q1: 県士会活動に携わるきっかけや現在までの活動を教えてください



26歳（広島2年、鳥取2年）で島根に帰ってきました。前職場は県士会事務局長がおられたので当たり前で県士会活動のお手伝いをしていましたが、来た当初、安来第一病院は一人職場で特に県士会との関りはありませんでした。

2年くらいしたときに「理学療法普及事業」が協会指導のもと全国一斉に行われることとなったので、県士会から連絡があり私も手伝うことになりました。今でいう「理学療法週間事業」です。これが島根県理学療法士会とのお付き合いの始まりです。

その後、理学療法週間事業担当委員、広報部長を経て理事に就任しました。多分34か35歳ごろだったと思います。当時は広報部、福祉部の担当理事をしていました。

43歳で副会長兼社会局長をさせていただきました。この頃は大きな転換期で、地域包括ケアシステム関係の内容で、中央研修に行ったり協会の会議に出たり、県の担当職員さんと話し合いをしたり、また体育協会との関係が出来たのもこの時期でした。もう一方で理学療法士の職域拡大に対しても力をいれてました。今思えば、渉外的な部分を担当していてかなり忙しかったと思います。



2010年 広報部理事として理学療法週間イベント開催

Q2:会長になられる前となられた後で変化したことはどんなことですか？

副会長時代に渉外的な部分を担当させていただきながら、理学療法士の職域拡大にも力を入れていたと前述しました。そのため、島根県を東に西にと文字通り「東奔西走」していて、浜田は年に複数回、益田は勿論、津和野町にも行きましたし、隠岐にも行きました。というように自分が動いてなんぼだったのが、会長職になったら「動かない」ということに大きな変化を感じました。

自分の性格からして最初に会長に就任した時は、人に任せて見守ることが苦手で苦痛でしたが、徐々にしていただくということを知りました。おかげで、職場でも部下たちに仕事を任せて隠居生活を送るための準備ができるようになりました。

会長になった時「忙しくなったでしょ」とよく言われましたが、イベント、研修等の準備段階がなく当日行って挨拶するだけということも増えてきたので、裏方で動いていた時の方が忙しかった気がしています。

後は、人脈のラインが変わりました。今までは実働的な方々との人脈が多かったですが、会長になると、代表者様との人脈が多くなってきたと感じています。

Q3:とてもお忙しいと思いますがワークライフバランスや息抜きなどについて工夫しておられることがあったら教えてください

Q2で書いたように忙しさの質が変わってきて副会長時代より楽になったかもしれません。ワークについては、もともと重度心身障がい者施設勤務出身ということもあり、脳血管疾患の重度で筋緊張が亢進しておられる患者様の理学療法をさせてもらうことが大好きです。

ライフについては、私は安来市広瀬町広瀬で生まれ育ちまして、広瀬愛がかなり強いです。あまり知られていない資格だとは思いますが「文部科学省認定社会通信教育 生涯学習支援実践講座生涯学習コーディネーター、及び新支援技法研修」を修了しており、交流センター運営協議会副会長兼青少年育成員会委員長をさせてもらっています。四季を通じて広瀬の町で子供達と遊びます。いかだを作って川下りをしたり、広瀬の町を使ってウォークラリーをしたり、うどん打ち体験をしたりしています。子供達と体を動かすとかなりのリフレッシュになります。「広瀬、尼子一族、月山富田城、山中鹿之介幸盛」が大好きで、幸盛祭の実行委員でもあり毎年月山登山をします。

写真は月山を背景に撮ったものと、鹿之介幸盛のバックプリントの入ったポロシャツです。松江城が国宝になったのは、月山富田城の石垣を使っていたからだと思っています。



後は、スポーツはやるのも観るのも大好きです。剣道は小学校1年生からしていて、今も週に2回稽古をしています。剣道をしていると何もかもを忘れて集中できるので好きです。

一番の楽しみはハロプロのYouTubeを見ることです。特に通勤時に車の中でハロプロの楽曲を聞くことが最大の息抜きかな。



Q4:若い会員や地域の方にメッセージをお願いします

【若い会員の皆様へ】

未来って誰かに与えてもらうものではなくて、自分で見つける（つかみ取る）ものだと思います。自分の進みたい道を探しましょう。理学療法（ワーク部分）の成長、向上はもとより、余暇（ライフ部分）の充実も必要だと思います。余暇に何をすることも探してみてもいいでしょうか。そして、最後は人脈だと思います。ワークでもライフでも、今までの私は、どうしようかなと困っていると誰かが助けてくれました。私は、50歳を超え、理学療法士人生のゴールが見え始めてきたので、それ以外の人脈を作っているところです。

【地域の皆様へ】

30年前に、「生まれ育った地域の違いで受けられない医療があることはおかしいのではないかと」思い、小児の理学療法を経験し島根県に帰ってきました。当時は市と中心的な町くらいにしか理学療法士はいませんでした。しかし現在では島根県下のほぼすべての市町村に理学療法士がいます。皆様と一緒に理学療法に励むことはもちろん、健康な体作り、健康寿命を延ばすなど、健康面に対してもご一緒できればいいなと思っています。ぜひ、お近くの理学療法士に気軽にお声がけいただければ幸いです。

色々なことを気持ちに乗るまま書いてしまったので「え～」と思われるところもあったと思いますが、最後までお付き合いいただきありがとうございました。今後とも島根県理学療法士会の発展に尽力させていただきたいと思いますのでこれからも宜しくお願い致します。



情報部が
勝手に推薦

気になる会員①

2019年11月24日現在、島根県理学療法士会会員は760名となりました。会員同士がより顔の見える関係になることを目的に、経験年数10年未満の気になる会員を紹介します。先輩世代、同世代、後輩世代それぞれ刺激しあいましょう。

Q1:理学療法士をめざした理由を教えてください

私が将来のことを考え始めたのは高校生の頃で、何か人のためになる仕事に就きたいという思いがありました。また、元々母と姉が看護師をしていたため、自然と医療系の仕事について考えるようになりました。

そのような思いの中、私は中学校からサッカー部に所属しており、怪我後のリハビリで理学療法士が関わっていたことや、身体を動かす仕事の方が私には向いていると思い、理学療法士を目指すようになりました。



いしだ けんじ
石田 健治 さん

益田赤十字病院
経験年数：6年目

Q2:仕事で興味があることや力を入れておられることを教えてください

益田赤十字病院は、益田圏域における急性期・高度急性期病院として位置づけられており、脳卒中・運動器疾患・内部障害疾患等さまざまな分野の患者様の対応ができるよう日々研鑽に努めています。

また、赤十字病院の一員として赤十字救急法の指導員資格を取得し、一般市民を対象に一次救命処置や応急手当等を指導しています。

今後も益田圏域の医療に必要とされる存在となれるよう、努力していきたいと思えます。

Q3:仕事を通じて思うことや今後の展望について教えてください

仕事を通じて感じることは、患者様の退院後の生活が見えにくいことです。退院しても自宅でのサポートが不十分で病態が再度悪化し、入退院を繰り返す患者様を目にすることがあります。

現在、日本は超高齢社会を迎えており、今後は「在宅」や生活習慣病やフレイルの「予防」がより重要となっていくと思われれます。これからは病院だけではなく、地域や在宅への視野も広げ、理学療法士としての専門性を深めていければと考えています。



情報部が
勝手に推薦

気になる会員②

Q1:理学療法士をめざした理由を教えてください

とてもありきたりですが、中学生の部活動で怪我をした際に理学療法士という存在を知り、お仕事の様子に興味を持ったことが、理学療法士を目指したきっかけです。学校に入った当初は整形やスポーツリハの道に携わりたいと思っていましたが、アルバイトで障がいのある子ども達と関わったことを通して、もっと子ども達に関わる仕事がしたいと思うようになり、小児の分野を目指しました。

Q2:仕事で興味があることや力を入れておられることを教えてください

当院の小児科は外来でリハビリを提供しているため、お子さんの生活主体が学校や園、自宅になることが多いです。したがって、リハビリでできることを増やすだけでなく、主な生活場面で発達が促されるようにご家族や関係機関との連携を行いながら、生活環境を調整することが重要だと考えています。そのため、福祉の制度なども利用して積極的に学校や園への訪問し、実際の生活をしっかりと把握するように心がけています。また、学校や園は教育・保育など分野によって関わる目的が異なるため、どのようにすれば協力してもらえるかを相談するようにしています。



にかく りゅうのすけ
二角 龍之介 さん

出雲市民リハビリテーション病院
子ども発達相談室
経験年数：9年目

Q3:仕事を通じて思うことや今後の展望について教えてください

当部署では理学療法士が一人しかいないため、「本当にこの目標や方針でいいのか」と自問自答することも多い中、日々子ども達や保護者様の笑顔に助けられていることを実感しながら仕事をしています。

この笑顔になるべく答えられるようにこれからも自己研鑽に励んでいければと思っています。今後は、外来リハビリや学校や園生活だけではなく、訪問リハビリや障がい者スポーツなど自分の活動できる幅を広げて行きたいと思っています。

Q1:理学療法士をめざした理由を教えてください

高校生のとき部活で怪我をした時に、実際にリハビリを受け魅力的な仕事だと思ったのがきっかけです。姉がりハビリの仕事をしていたのでイメージがつきやすく、より魅力を感じたのだと思います。他にもやりたいことがあり、進路で踏ん切りがつかなかった時に、所属していた部活動の関係で接点のあった当時の松江総合医療専門学校の専任教員だった南場芳文先生に誘って頂いたこともこの道に進む大きな理由となりました。

Q2:仕事で興味があることや力を入れておられることを教えてください

呼吸器疾患や小児、神経筋難病の患者さんが多い病院のため、自ずとそれらの分野に興味をもって臨床を行っています。特に呼吸器は、多くの疾患に関わる分野であり就職面接の際にも呼吸器をみたいと希望を伝えたほど当初から興味をもっています。他の内部障害についても、臓器は繋がりがあっておりリスク管理を行い効果的な運動療法を行う上で大変重要なので、幅広く情報を入手していくことを常日頃から意識して行っています。



くるまだ りょうすけ
車田 良介 さん
NHO松江医療センター
経験年数：8年目

Q3:仕事を通じて思うことや今後の展望について教えてください

維持期から終末期に関わることが多く、できるだけ長く人間らしく生きるためにどうしたらよいか、どういったアプローチや関わりができる(できた)のか、日々考えることはたくさんあります。治療の進歩などで寿命が延びても生活の質を高めていく必要性を感じます。ひとりではなくチーム一丸となればできることもあるので多職種が関わることの大切さも仕事を通じて痛感しています。今後は日々の臨床はもちろん研究など学会発表も、精力的に行っていきたいです。

編集後記

今回号から「もっと地域の皆様に理学療法士を知っていただき、元気のためにプラスになる冊子を提供したい」という思いと「もっと島根県理学療法士会の会員のつながりを深めたい」という思いから県士会ニュースをリニューアル致しました。

ニュースは新しい理事の元、情報部員3名で作成致しました。

会員向けの冊子「SPiriT」はラテン語で「魂」「勇気」「活気」の他に「呼吸」「息」という由来を持つ言葉であります。会員の息使いを感じ、勇気や活気が湧くような冊子にしたいという願いを込めて名付けました。

まずは年1回のペースでホームページへの配信を予定しております。

至らない点が多々あると思いますが、是非ご意見、ご感想をお聞かせください。

ご協力をお願い

- 施設紹介、気になる会員、スペシャル会員などの原稿依頼をさせていただきます。ご協力をお願い致します。また、「あの施設が知りたい」「あの会員に依頼して欲しい」というご要望がありましたらお寄せ下さい。
- 地域の方向けの冊子「まめっぴ」、会員向けの冊子「SPiriT」とともに表紙の写真を募集致します。理学療法をイメージできるような、気持ちが和むようなお写真の投稿をお待ちしております。個人情報には十分ご配慮いただき、掲載の承諾を得た写真をお願い致します。
- 日々の仕事に役立つアイテムなどの情報をお知らせください。従来は勉強になる書籍が主に紹介されることが多かったと思いますが、サイトやアプリなどの情報もお待ちしております。情報部などで判断し、掲載させていただきます。
- 理学療法士を広く知っていただくために、あるいは世間から理学療法士がどう見られているか知るために理学療法士やリハビリテーションを題材にした書籍や漫画、映画などを紹介したいと考えております。情報をお寄せ下さい。

【お問い合わせ先】

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部

島根県理学療法士会 情報部 道端ゆう子